



あぐりとびっく
Agri Topic

プランターで野菜作りを始めてみよう!



サンチュ

1 栽培時期 △ 植付け ■ 収穫

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

作型
露地
栽培



2 準備するもの

- ◆サンチュの苗約2株 ◆深さ20cm以上、横幅50cm以上あるプランター(発泡スチロールの箱も可)
- ◆培養土 ◆鉢底石 ◆肥料 ◆ジョウロ ◆手袋

3 栽培のポイント

- ◆苗は本葉が4~5枚程度でしっかりしたものを選ぶ。
- ◆鉢底に鉢底石を敷き詰め、8割程度培養土を入れる。
- ◆元肥として、堆肥100~200gを混和する。
- ◆鉢底から流れ出るくらい、たっぷりと水を与える。
- ◆定植する際、苗と苗の間を20cmほどあける。

4 追肥

- ◆栽培期間が長いため、元肥を十分に与え生育の様子を見ながら追肥を与える。追肥は野菜専用化成(窒素12リン酸15カリ10)を100~200gか、液肥を1000倍に希釈したもの、どちらかを与える。

5 病気・害虫対策

- ◆葉が黄色くなった斑点ができるなど、病害が発生したら葉を取り除く。または、葉の裏にオオタバコガなどの卵を見つけた場合は、アフーム乳剤100mlを2000倍に希釈したものを害虫の卵が付着している所に散布すると良い。(総使用回数は3回、収穫3日前まで使用可能)
- ◆とう立ち(花を咲かせるために茎が伸びる)を避けるため、高温と長日条件(12時間以上の昼の長さ)に注意が必要。

6 収穫

- ◆下の葉から順次、15cm程度育ち、一株1~3枚を目安に、必要に応じて収穫する。



サンチュは日当たりの良い場所で育て、葉が伸び悩んだら液肥を散布するのが効果的だが、水やりと肥料の与え過ぎには注意する。プランターの代わりに保温性のある発泡スチロールの箱を使うのもおすすめ。根が大きく育つため、十分な深さのある容器が適している。葉を外側から1枚ずつ収穫することで、長く収穫が楽しめる。収穫後も、追肥と水やりを適切に行い病害虫に注意すれば長く収穫できる。